

大宮盆栽村100周年

次の
百年へ



画像提供：
九霞園、盆栽大野、日本盆栽協会、さいたま観光国際協会、
さいたま市大宮盆栽美術館

写真／五葉松 銘「日暮し」
(さいたま市大宮盆栽美術館蔵)



大宮盆栽村100周年
ウェブサイト

OMIYA BONSAI to the next 100 years

大宮盆栽村の歴史

東武アーバンパークライン（野田線）とJR宇都宮線に囲まれた大宮公園北側一帯に、大宮盆栽村（さいたま市北区盆栽町）があります。

かつて、東京の団子坂（文京区千駄木）周辺には、江戸の大名屋敷などの庭造りをしていた植木職人が多く住んでおり、明治になってから盆栽専門の職人も生まれました。関東大震災（1923年）で大きな被害を受けた盆栽業者が、壊滅した東京から離れ、盆栽育成に適した土壌を求めてこの地へ移り住みました。

1925年には彼らの自治共同体として大宮盆栽村が生まれ、最盛期の1935年頃には約30の盆栽園がありました。

大宮盆栽村は、いまでも名品盆栽の聖地として知られ、日本だけでなく世界から多くの愛好家が訪れています。



さくら通り



もみじ通り



かえで通り



今年は大宮盆栽村100周年記念イベントが盛りだくさん！

9月18日～21日	大阪・関西万博出展 ※9月17日設営終了後、メディア公開
10月3日～12月10日（予定）	大宮盆栽村100周年記念特別展（大宮盆栽美術館）
10月4日	大宮盆栽村100周年記念イベント（プラザノース前市民広場）
10月	大宮盆栽区役所展示（西・北・大宮・見沼 各区役所）
11月14日～16日（予定）	大宮駅構内等イベント（大宮駅東西連絡通路ほか）、盆栽夜市イベント（鐘塚公園）
11月	大宮盆栽美術館ライトアップ・盆栽文化啓発事業（大宮盆栽美術館） BONSAIライトアップ（武蔵一宮氷川神社）、謎解き周遊イベント 大宮盆栽村開村100周年記念式典・大宮盆栽展示（大宮駅周辺）
12月	盆栽ビジネスコンテスト
2026年1月	インバウンド・プロモーション



▲詳しくはこちらへ

盆栽を鑑賞できるスポット

■さいたま市大宮盆栽美術館

大宮盆栽村に近接して設けられた、世界初の公立の盆栽美術館。

盆栽はもちろん、盆器（植木鉢）や鑑賞用の水石、盆栽が描かれた浮世絵などの展示、盆栽の文化を伝えるための講座などを開催。

料 金	小中学生	高校生・65歳以上	一般
	100円	150円	310円
休館日	木曜日（祝日は開館）、年末年始		



■アクセス

埼玉県さいたま市北区土呂町2-24-3
（JR「土呂駅」から徒歩5分、東武アーバンパークライン「大宮公園駅」から徒歩10分）

■盆栽園

各園主こだわりの盆栽を無料で鑑賞できるほか、盆栽を購入することもできます。

九霞園・清香園・藤樹園・芙蓉園・蔓青園・

松濤園（いずれも北区盆栽町）

松雪園（北区東大成町）

盆栽大野（見沼区片柳）

※盆栽大野への訪問は事前に予約が必要です。

詳しくは、盆栽大野（TEL 090-2446-4403）へ。

※入園時には一言挨拶を。

※写真撮影はできません。



公式ウェブサイトやSNSで情報発信中！ /

公式
ウェブサイト



お問い合わせ：さいたま市スポーツ文化局文化部文化政策室 TEL：048-829-1225 FAX：048-829-1996（平日 8:30～17:15）
協力：さいたま市大宮盆栽美術館

このチラシは、60,000枚作成し、1枚あたりの作成経費は約5円です。